

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

| | | |
|---|---------|---|
| 1 | 施設名 | 仙台市南小泉児童館 |
| 2 | 指定管理者 | 公益財団法人仙台ひと・まち交流財団 |
| 3 | 指定期間 | 平成29年4月1日から平成34年3月31日まで |
| 4 | 施設の利用状況 | 《利用者数》 27,456人 (前年度比 96.1%) 平成28年度 28,580人 平成27年度 27,217人 平成26年度 28,755人 |
| | | 《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業 |
| 5 | 収支の状況 | 《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 27,241千円 (1,717,268千円 ※非公募68館分) ()は前年度決算額 ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円) |
| | | 《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円) |
| 6 | 利用者の声 | 《実施状況》 利用者アンケート, 児童館運営懇談会, 児童クラブ保護者懇談会を実施。 |

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

| 評価分野 | | 所見 | 評価 |
|------|------------|---|----|
| I | 総則 | 児童館の設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、管理運営団体が作成した「オリエンテーションブック」を用いて職員への共通理解を図るとともに、館内掲示、ホームページ等で利用者にも周知している。また、地域の特性を生かした各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。 | S |
| II | 施設の運営管理体制 | 職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な運営管理体制が構築されている。また、施設内外の日常点検及び定期点検、マニュアル等の整備、毎月の避難訓練の実施等、安全に留意した運営に取り組んでいる。 | S |
| III | 施設・設備の維持管理 | 日常的・定期的な保守点検や清掃により、建物、設備、外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取組みが実施されており、安全で快適な環境が保たれている。 | S |
| IV | サービスの質の向上 | 名札の着用、館内掲示による職員紹介、児童館だけの発行やホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに取り組んでいる。また、各種研修への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等を通して利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。 | S |
| V | 施設固有の基準 | 年度途中に移転、名称の変更があり、のびすく若林と併設館になったことから、複合施設内の児童館として、それぞれの施設の役割や事業内容の見直しを利用者の視点に立って行い、事業の充実を図っている。地域で長く利用されてきた児童館として、定着している行事は継続し、類似の行事の日程がのびすくと重ならないようにするなど工夫している。区役所と隣接し、近隣に文化センター、中央市民センター及び図書館がある環境の特性を生かし、情報交換など連携した取組みを行っている。 子育て支援クラブの活動を支援するほか、民生委員児童委員協議会や各ボランティアと連携し、地域で子どもを支える取組みを実施している。 | S |

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

| 評価すべき取組み | | 取組み状況 |
|----------|--|-------|
| 1 | | |
| 2 | | |
| 3 | | |
| 加点評価 | | — |

四 評価総括

| 《指定管理者（公益財団法人仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》 |
|---|
| <p>当児童館は、市民センター別棟の新築移転に伴い、平成29年9月に南小泉児童館として新たにスタートしました。新施設2階に“のびすく若林”が設置されたことから、今年度は小学生行事の更なる充実を目標に運営を進めてきました。</p> <p>今年度の特徴的な事業としては、市民センター利用者や中高校生、小学生との世代間・地域交流を目的とした、“若中サマースクール・ウインタースクール”の開催があります。サマースクールにおいては、“卓球サークル”のシニアの方々と小学生による“卓球を楽しもう会”，ポッチャサークルとの“ポッチャで楽しもう”，陶芸指導者による“親子陶芸教室”，近隣小学校教員の児童が一堂に会した“オセロ若中杯夏の陣”などを開催しました。また、ウインタースクールでは、南小泉中学校のブラスバンドによる“クリスマスコンサート”，聖ウルスラ学院高等学校書道部による“書初めにトライ！”，ポッチャクラブのシニアと小学生による“ポッチャ大会”を開催しました。いずれも、小中学生が集まりやすい長期休業中に開催したため、毎回60名近い小中学生と、30名近い地域の方々の参加がありました。</p> <p>その他、毎月“子ども委員会”を開催し自分たちで遊びのルール作りを行うなど、小学生の遊びにおける自立の育成を行ってきました。また、運動の楽しみやオセロの楽しみ方と技のスキルアップを目的に、体育クラブ、オセロクラブを設置しました。特に小学生に運動に親しむ機会を設けるために、体育館で遊ぼう・スポチャレ等の行事を隔週で実施し、多くの小学生がスポーツの楽しさを味わいました。乳幼児行事に関してもこれまで通りの行事数を確保しながら、同一施設ののびすくとの情報共有を図りつつ来館者にとってより親しみやすい施設運営を心掛けてまいりました。</p> |

| 《施設設置者（仙台市）による評価》 | 総合評価 |
|---|------|
| <p>小学生を対象に毎月定例・企画行事の充実を図り、運動・集団遊び、ゲームや伝承遊び、製作活動等多様な活動を提供している。児童が選択・利用しやすい月に複数回実施する、地域の児童が集いやすい長期休業中に行うなど、実施内容・頻度・時期の工夫を行っており評価できる。また園庭が狭く戸外遊びの機会が取りにくい環境ではあるが、遊戯室や市民センター体育館を利用し、体育クラブの設置やスポーツ・集団遊びなど体を動かす遊びに積極的に取り組んでいるほか、子どもが意見や考えを出し合う場を提供するなど、心身の健全育成に取り組んでいる。長期休業中には多世代の方と交流しながら楽しめる様々な活動の場を提供するなど、積極的に地域交流にも取り組んでおり評価できる。中高生対象には、スポーツや談話等複数の場を平日・土曜日に提供し居場所作りに取り組んでいる。</p> <p>児童クラブの運営においては、保護者組織の活動を支援し、行事のボランティアや夏休みの親子行事を通して保護者同士の交流や児童館との関係作りに取り組んでいるほか、独自の取組みとして、夏休み中に希望する保護者に児童クラブでの子どもの様子を見に来てもらい、その後面談する取組みを行っている。創意工夫を図り家庭と連携した育成支援に取り組んでおり評価できる。</p> | S |

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進室